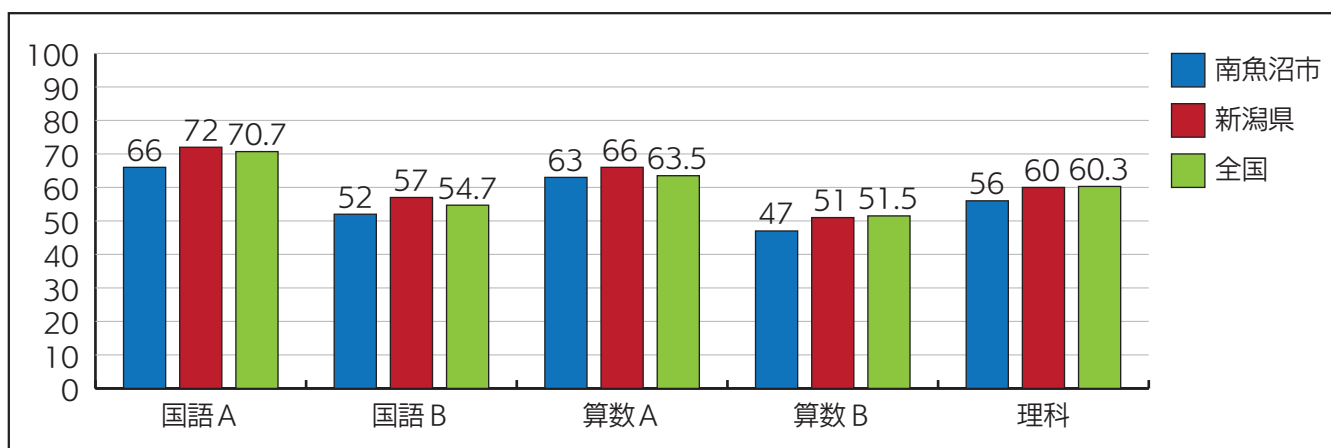


4月17日(火)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、理科の3教科について全国学力・学習状況調査が実施されました。7月に発表された結果を、全国と県の平均と比較し、分析を行いました。

### 1 正答率の比較

※昨年度から市、県の数値は小数点以下を表示していません  
(A問題：知識や基本的事項の理解度を調べる問題、B問題：活用力・応用力を調べる問題)

#### 小学校6年生の平均正答率



#### 国語

昨年度はA問題が全国平均正答率を下回り、B問題は全国平均正答率を大きく下回りました。今年度は、A問題・B問題ともに全国と新潟県の平均正答率を下回りましたが、B問題は全国平均正答率に近づきました。A問題では、目的に応じて必要な情報を見つけ、読み書きする能力に課題があります。B問題では、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題があります。

#### 算数

昨年度は、A問題が全国平均正答率を下回り、B問題は全国平均正答率を大きく下回りました。今年度は、A問題・B問題ともに全国と新潟県の平均正答率を下回る結果でしたが、A問題はほぼ全国平均正答率に並びました。数量の関係を数直線上に表すことや論理的・発展的に考察すること、根拠を示しながら記述することに課題があります。

#### 理科

理科では、全国平均正答率を下回りました。人の腕が曲がるしくみを模型で説明する問題では、全国平均正答率を上回りました。一方で、回路を流れる電流の向きと大きさを実験結果から考える問題など、物理の領域に課題があります。

#### 中学校3年生の平均正答率

